

一般社団法人日本臨床腫瘍薬学会定時総会 議事録

日時：平成27年3月14日（土） 13時15分～14時00分

場所：みやこめっせ 第1会場（3階第3展示場B）

（京都市左京区岡崎成勝寺町9-1）

1) 議決権のある正会員総数 1,239名

総正会員の議決権の数 1,239個

出席正会員数 962名（内委任状 27、事前表決行使 765）

この議決権の総数 962個

出席理事：遠藤 一司 理事長、加藤 裕芳 副理事長、山本 弘史 副理事長、
川尻 尚子 副理事長、青柳 吉博 理事、大谷 俊裕 理事、大塚 昌孝 理事、
小笠原 信敬 理事、小川 千晶 理事、小井土 啓一 理事、近藤 直樹 理事、
櫻井 洋臣 理事、鈴木 賢一 理事、中澤 理事、縄田 修一 理事、
野村 理事、橋本 浩伸 理事、牧野 好倫 理事、松井 礼子 理事、
山口 健太郎 理事、山口 拓洋 理事、米村 雅人 理事、和田 敦 理事

出席監事：軍司 剛宏 監事、堀越 建一 監事

1) 理事長挨拶

学術大会2015は初めて関東以外での開催で、とても多くの方に参加していただいている。この1年でたくさんの方に会員になっていただいた。一般社団法人日本臨床腫瘍薬学会（以下「JASPO」）の活動が多くの方々に認めていただいた結果だと思う。昨年度より外来がん治療認定薬剤師の認定を開始し、合わせて170名の認定者を輩出した。また、診療報酬改定においてがん患者指導管理料3が新設され、今まで以上にがん領域で優れた活動が必要とされており、JASPOはがん領域の薬剤師のプラットフォームの役割を果たすことが使命であると述べられた。

2) 審議事項

JASPOの定時総会に先立ち、本総会は、定款第17条の定足数を満たしており、成立している旨の報告が清水総務委員副委員長よりなされた。

開会、議長・副議長の選出等

本総会における議長・副議長の選出を行い、議長に山本弘史氏、副議長に近藤直樹氏が選出され、承認された。

・第1号議案：代議員制度の導入と定款の変更

代議員制度の導入および定款の変更内容が中澤理事により、配布資料に基づき説明がなされた。今後も正会員数が増加することが見込まれることから、総会での代議員制度の導入により、法人としての意思を決定する最高機関としての機能をより果たすことが可能となる。定款の変更は、現行の総会の構成員であるすべての正会員に代わり、正会員の中から一定数の代議員を専任し、代議員をもって総会の構成員とする代議員制度を導入するためのものである。

定款の主な変更内容としては、法人の代議委員を25名以上50名以内とすること（第3章第5条の2～8を新設）、総会の開催を毎年3月から事業年度終了後3ヶ月以内の開催への変更（第4章第14条）、理事の人数を15名以上から15名以上25名以内とすること（第5章第21条）であり、代議員制度導入に伴う変更のみである。

代議員選任規則は、平成26年12月6日に開催された理事会で制定されており、代議員立候補者の要件は、正会員として2年以上経過していること、当年度までの会費を完納していること（代議員選任規則の第4条）、正会員3名の推薦人がいること（代議員選任規則の第5条）である。定款第17条の2の総会員数の3分の2以上（826名）の賛成数を得られたため、承認された。

・第2号議案：代議員選任管理会幹事長の選出

代議員選任管理会の幹事長が、中澤理事より代議員選任規則第3条の2項に基づき総会で選出することの説明がなされ、理事会において、代議員選任管理会幹事長の候補者として、東北大学院医学系研究科医学統計学教授の山口拓洋氏が推薦されたことが報告された。定款第17条の充足数（過半数）を満たしており、承認された。

・第3号議案：平成26年度事業報告

・第4号議案：平成26年度決算報告

平成26年度事業報告、収支報告書（平成26年1月1日～同年12月31日）、貸借対照表（平成26年12月31日現在）、損益計算書（平成26年1月1日～同年12月31日）、販売費及び一般管理費内訳書（平成26年3月1日～同年12月31日）、財産

目録（平成26年12月31日現在）、会費収入の内訳（平成26年12月31日現在）が配布資料に従い、加藤裕芳副理事長により報告がなされた。その後、堀越建一監事より法令に従い、平成26年度の会計監査を行い、全て適法、かつ的確に執行されていることを確認した旨、配布資料に基づき報告がなされ承認された。

3) 報告事項

・第7議事：平成27年度事業計画及び収支予算

平成27年度の事業計画及び収支予算について、加藤裕芳副理事長により配布資料に基づき説明がなされた。学術大会2016の開催、認定薬剤師の養成事業として講習会等を開催、新たな事業としてスタートアップセミナーのDVDによる地方開催、薬薬連携委員会は名称を改め、地域医療連携委員会とし、地域のがん医療の連携のさらなる推進を目指すこと、学会誌の発行および投稿規定の作成を予定している旨の報告がなされた。

・第8議事：外来がん治療認定薬剤師 認定の報告

牧野好倫理事（認定制度委員長）より、第2回日本臨床腫瘍薬学会認定「外来がん治療認定薬剤師」の認定について、理事会で合格者122名に「外来がん治療認定薬剤師」認定の名称を付与することが承認された旨の報告がなされた。

・第9議事：学術大会2016の報告

2016年の学術大会は、平成28(2016)年3月12日及び13日に、JASPO運営規則第5条第3項に基づき、平成26年2月9日に開催した理事会において、学術大会2016の大会長に鹿児島大学医学部・歯学部附属病院 薬剤部の武田泰生氏を選任した旨が本総会に報告された。なお、本学会運営規則第5条第4項に基づき、大会長は、鹿児島大学医学部・歯学部附属病院 薬剤部の池田龍二氏に実行委員長を委嘱している旨の説明が遠藤一司理事長より報告がなされた。

本報告を受け、武田泰生大会長より「薬剤師が繋ぐがん薬物療法の向上と実践～チーム医療から地域医療連携へ～」をテーマとして「かごしま市民文化ホール」「南日本新聞会館 みなみホール」の2会場にて平成27年3月12日及び13日に開催する旨の報告がなされた。

以上をもって本日の議事を終了し、閉会とされた。

上記の決議を明確にするため、この議事録を作成し、議長、副議長及び出席理事がこれに記名押印する。

平成27年3月14日
一般社団法人日本臨床腫瘍薬学会定時社員総会

議長	山本 弘史	
副議長	近藤 直樹	
理事長	遠藤 一司	
副理事長	加藤 裕芳	
同	川尻 尚子	
理事	青柳 吉博	
同	大谷 俊裕	
同	大塚 昌孝	
同	小笠原信敬	
同	小川 千晶	
同	小井土啓一	
同	櫻井 洋臣	
同	鈴木 賢一	
同	中澤 寛仁	
同	縄田 修一	
同	野村 久祥	

- 同 橋本 浩伸 
- 同 牧野 好倫 
- 同 松井 礼子 
- 同 山口健太郎 
- 同 山口 拓洋 
- 同 米村 雅人 
- 同 和田 敦 

(以下余白)